

2018 年 3 月 20 日

## **ミュンヘン検察庁による調査に関する BMW グループの声明**

### **ミュンヘン発：**

BMW グループは、BMW 750d\*および BMW M550d\*の一部である約 11,400 台の車両へ、誤ったソフトウェア・アップデートが実施された件に関し、ミュンヘン検察庁による調査が開始されたことを確認した。本件に関し、ミュンヘン検察庁の係官が 3 月 20 日に、BMW グループの 2 拠点を搜索した。

BMW グループは自らの内部調査を通じ、適正に開発されたソフトウェアが、搭載されるべきでないモデルに、誤って搭載されたことを確認している。このため、BMW グループは、対象となる約 11,400 台の車両へ、監督官庁による承認を得た後に、正しいソフトウェアをインストールすることを計画している。

BMW グループは、本件を厳粛に受け止めており、監督官庁の調査に全面的に協力する。BMW グループにおける内部調査の結果も監督官庁に提供される。

BMW グループは、本件が過失であり、排出ガスを意図的に不正操作する意図は一切なかったと考えている。

対象となる車両の多くは、正しいソフトウェアを搭載して工場より出荷され、正常に走行している。生産開始からしばらく経過した後に、一部のモデルへ誤ったソフトウェアが導入されたことが確認されている。

\*: BMW 日本法人であるビー・エム・ダブリュ株式会社は、BMW 750d および BMW M550d の正規輸入を行なっておりません。